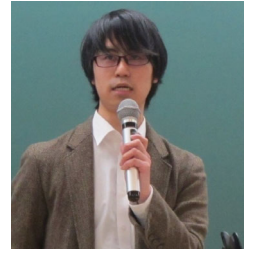


研究タイトル:

## 三島由紀夫を中心とする昭和前期文学の研究



氏名: 福田 涼 / FUKUDA Ryo E-mail: r-fukuda@kure-nct.ac.jp

職名: 助教 学位: 博士(文学)

所属学会・協会: 日本近代文学会、昭和文学会、大阪大学国語国文学会

キーワード: 三島由紀夫、日本浪漫派、典拠と引用、日本近代文学

技術相談  
提供可能技術:

- ・三島由紀夫の作品に関する講演・講座
- ・国語教科書掲載作品(小説を中心とする)に関する講座
- ・アカデミック・ライティングに関する講義・指導
- ・教師用指導書(国語)、解説・解題等の執筆

### 研究内容: 三島由紀夫作品を中心とする昭和前期の小説に関する多角的な研究

#### ①三島由紀夫の小説・戯曲に関する研究

戦後の日本を代表する小説家・劇作家である三島由紀夫(1925~1970)の小説や戯曲を、作品の典拠や、作中における引用、同時代の社会的文脈等を踏まえて、多角的に考察する試みを続けています。

たとえば、拙稿『[春の雪](#)』における翻訳文学受容—綾倉聡子を中心に—(『三島由紀夫研究』第20号、鼎書房、2020.03)では、従来『浜松中納言物語』や『源氏物語』や『竹取物語』といった日本の古典文学からの影響が強調されてきた『春の雪』(『豊饒の海』第一巻、1965~1967)が、コデルロス・ド・ラクロ『危険な関係』(1782)や、ギュスターヴ・フローベール『ボヴァリー夫人』(1856)、ラディゲ『肉体の悪魔』(1923)といった西洋の姦通小説を摂取・変奏していることを明らかにしました。

また、同『[三島由紀夫『潮騒』論—初江に着目して—](#)』(『語文』第111輯、大阪大学国語国文学会、2018.12)では、本作を主人公たる初江の視点から読み替えるとともに、本作に込められた戦後日本の「民主化」のありように対する批評意識を浮き彫りにしました。

現在は、昭和20年代の三島作品における、先行小説(ラディゲやフランソワ・モーリヤック、堀辰雄ら)からの影響について、調査・分析を進めています\*1。

#### ②敗戦前後における「日本浪漫派」周縁部の文学的営為に関する研究\*2

上述の研究に加えて、近年は昭和十年代の文壇を席卷した文学運動である「日本浪漫派」についても、調査を進めています。保田與重郎(1910~1981)を中心とする同派は、戦前戦中の文壇における「古典回帰」の潮流を牽引し、青少年らに多大な思想的な影響を与えたとされます。しかし同派は敗戦後の文壇からは「戦犯」として冷遇・黙殺され、そうした見方は以後の研究に対しても強い影響を与えてきました。

こうした研究状況を是正すべく、近年は敗戦前後に発行された「日本浪漫派」系の雑誌『文藝世紀』を研究の俎上に載せ、同誌に掲載された作品や、同誌と関連が深い作家の作品(三島由紀夫や太宰治、高見順といった著名な文学者もたびたび寄稿しています)を分析しています。こうした作業を通じて、敗戦前後における「日本浪漫派」の文学運動が担った役割を明確化し、同派を昭和文学史の内部に再定位することを目指しています。

\*1 『[三島由紀夫の翻訳文学受容:昭和20年代を中心に](#)』(日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究、課題番号:22K13059)

\*2 『[敗戦前後の「日本浪漫派」周縁の文学的営為に関する研究:『文藝世紀』を視座として](#)』(日本学術振興会 科学研究費助成事業 研究活動スタート支援、課題番号:20K21958)

#### 提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)